

# 北近畿タンゴ鉄道生活交通改善事業計画に関する協議会 開催結果

## 1. 日 時

令和8年3月5日（木）9時10分から10時30分まで

## 2. 場 所

市民交流プラザふくちやま 3階 市民交流スペース

## 3. 出席者

委員35名（うち代理8名）

オブザーバー1名

（別紙 出席者名簿参照）

## 4. 当日資料

別紙のとおり

## 5. 議 題

第1号 地域公共交通計画に係る令和8年度実施計画（案）について

第2号 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

## 6. 主な意見

### 〈第1号 地域公共交通計画に係る令和8年度実施計画（案）について〉

#### 【中学生お試し乗車券】

○中学生はお金を払わないため事業者に負担が生じているので、その負担が観光客の消費の中から出せる形になればより望ましい。

○継続していくにあたり、チケットの存在を認知していただくため、今回の実施結果のデータを小学校や中学校に公開し、データを使用した学習の題材に使っていただくなどすることで、本事業を知ってもらえるのではないかと。

○少なくとも中学校には、来年度も行っていくという告知とともに、結果をフィードバックする予定。

○結果を見てみると、中学生に限らず、駅に近い場所の方々には、潜在的な利用の可能性があることが分かる。ここで集中的にお声がけをすれば、効率的な利用促進の組み立てができるのではないかと。

○継続して取り組めば利用者が増加するだろうし、追跡調査ができれば実施に効果があったということも分かってくる。引き続きの実施をご検討いただきたい。

- 中学生お試し乗車券を、高校見学に行くために使われている方がいる。もしその高校へ行くことになれば、確実にご利用いただけるチャンスとなるので、高校側にも結果を共有できたら良い。
- 結果を高校に共有することは考えていなかったが、検討する。
- 利用目的を見てみると、映画館や海水浴などに行かれている人が多い。沿線の映画館と連携するなどどうか。
- 大学生向けに似たような取り組みはできないのか。全国から集まってきた大学生が北部の魅力に触れることができれば、一旦北部を離れてもまた戻ってきてくれる可能性があるのではないかと。現在は大学生の利用がほとんどないと思うので、新規顧客の開拓にも繋がるのでは。
- 大学生は行動範囲が広いので、大学生にアタックしていくのは、丹後の魅力を発信するのに良い。
- 大学生、高校生、中学生に鉄道を使ってこの地域を巡ってもらい、地域の良さを体験してもらうのは非常に効果的。将来利用してもらえ可能性が増えることも考えられる。

#### 【伊根町オーバーツーリズム対策】

- 伊根町のオーバーツーリズム対策の取り組みについては、来年度も、観光庁補助事業を使った地元利用者へのアンケートを行っていただきたい。数値を継続的に取ることで、地域としてしっかり取り組みを進めている証拠にもなる。
- 来年度も、観光庁の事業を活用しながら効果測定事業に取り組む予定。公募が出たので、これから申請する。
- 観光庁のオーバーツーリズム未然防止対策事業を活用し、観光特急バスを走らせたことによって、混雑が分散して地域の方がバスに乗れるようになったのは大きな成果。
- 続行便の時間が固定されているのであれば、観光に来られる方に続行便の利用を呼び掛けるのはどうか。「混雑緩和にご協力ありがとうございます」というような表示を車内に出すことで、観光客も気分が良くなるだろう。

- 観光特急バスと同時に行った船の事業は、バスに比べたら利用者は少ないが、初年度より1便当たりの乗車率は上がっている。継続して行うことが重要。
- 船の運航便数は去年より減らしているが、減らした分、パーク&クルーズで伊根町への車の流入を抑えることに船を使った。今年度、宮津の道の駅からもパーク&クルーズができるように取り組んだが、告知不足もあり、利用者数は少なかった。
- 夏場は特に船の需要が高いので、船の上手な活用を令和8年度の対策の中に盛り込みたいと考えている。
- 船を使った周遊のモデルコースを、外国語も含めホームページで発信するなどしてはどうか。来年度の1つの大きなテーマとして、船の利用促進を目指していけたら良い。

## 【その他】

- 2027年3月から、智頭急行がICカードサービスエリアを拡大予定。同じ西日本の特急を乗り入れているということで、府北部エリアも将来的には実現させられたら良い。mobiアプリはその第一歩だと思うので、今後に期待。
- mobiアプリは1月14日にリリースされたばかりで本格的な動きはこれからだが、来年度は企業向けに、mobiアプリで通勤定期が購入できることや月1回乗車運動の周知を行っていきたいと考えている。
- 与謝野駅100周年委員会で、昨年3月に桜をテーマにしたイベント、4月に太刀振り、7月にはヨサノガーデンフェスを行い、イベントの最後には500発の花火を打ち上げた。11月にもイベントを行い、はなあかりが通過する際にイベント参加者皆でホームに移動し、全員で手を振った。今年3月28日にもイベントを予定している。
- 地域公共交通まちづくり実践大学による人材育成は、地域公共交通計画に基づいて取り組みを進めている中で、交通事業者や地域住民の皆様を含め、交通に関するノウハウやコーディネート能力のある人材が重要だと考え、新規事業として掲げている。国の補助金を申請し、採択いただいたうえで取り組めるように努力する。
- JRとしては、北部エリアにお客様をお運びすることがひとつの努めだと考えている。この春、京都との繋がりを重点的にしていこうと、週末に特急を動かすことにした。運びの部分はしっかりと担うので、来ていただいた方が北部で過ごすコンテンツを進めていただいて、連携できればと思う。

**〈第2号 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）について〉**

- 特に意見無し。